

2021 年度 一般入試  
第 2 回

---

---

国 語

---

---

[注意事項]

- 1 問題は一から四までです。
- 2 時間は 50 分です。
- 3 下敷き<sup>したじ</sup>、シャープペンシルおよび電算機付きの時計の使用を禁止します。
- 4 解答は、鉛筆<sup>えんぴつ</sup>で濃くはっきりと書くようにして下さい。
- 5 開始の合図があるまで問題用紙を開かず、手を触れないで下さい。
- 6 考査中はよそ見をせず、きちんとした態度で行って下さい。
- 7 何か物を落としたら、黙<sup>だま</sup>って手をあげて下さい。
- 8 他の受験生に迷惑<sup>めいわく</sup>となるような行為<sup>こうい</sup>をしないで下さい。

— 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

小学五年生の「わたし（アオイ）」は、父親の仕事の都合でカナダに引っ越して、現地の学校に通うことになった。初めは英語がわからずつらい思いをすることも多かったが、少しずつカナダの学校にも慣れ、アディソンという友達もできた。

『わたし、ノバスコシアに引っ越すことになるかもしれない』

『え？』

幸太たちの声がうるさくて、よく聞こえない。

『わたし、たぶん、お母さんとノバスコシアに引っ越すことになると思う』

アディソンが、もう一度はっきりとそう言ったから、聞きまちがいじゃなかったとわかった。

わたしのそばから、アディソンがいなくなっちゃうかもしれない。わたしは、<sup>①</sup>頭をガツンとなぐられたような感じがした。

『クリスマスにお母さんと一緒に、ノバスコシアのおじいちゃんとおばあちゃんの家に行ったでしょ。大きくなったねって言うからさ、そうだよ、わたし、毎晩ごはんを作ってるんだって言ったの。そうしたらさ、親戚のおばさんたちが、わたしが、かわいそうだって言うの。一人でかわいそうだとか、十一歳の子がごはんを毎晩作るなんてかわいそうだとか、いろいろ言うの。それで、お母さんも、そうかなあって思い始めちゃって、ノバスコシアで仕事を見つけて、こっちで暮らそうかって言い出したの。おばあちゃんたちと一緒に住んだら、お母さんがおそくなっても、一人ってことはないし、おばあちゃんがごはんを作ってくれるし、また体操を習いたかったら、習わせてあげられるしって』

『なにやってるの？ 早くこっちにいらっしやいよ。そこ、寒いでしょう？』

アディソンにもわかるように、リビングからお母さんが英語で声をかけた。でも、アディソンは話をやめない。<sup>②</sup>それどころか、どんどん大きな声になっていった。『わたし、何回も言ったんだよ。今のままで、わたしは大丈夫だって。体操なんて習わなくていいよ。教室が家から近かったから通ってただけで、べつに体操が好きだったわけじゃないんだから。十一歳で晩ごはん作ってる子なんて、たぶん、他にもいるでしょう？ それなのに、お母さん、わたしの言うことなんか、全然聞いてくれないの！ わたしは、一人で家にいることより、友達とはなれたり、学校をかわることのほうがいやなのに！』

アディソン、最後のほうは、泣いてるんだか、怒<sup>おこ</sup>ってるんだか、わからないような声でさげんでた。リビングで遊んでた幸太たちが、びっくりして玄関まで様子を見に来た。

『アディソン、わたしの部屋に行こう』

わたしはアディソンを二階に連れていった。

アディソンは、部屋に入ると、くずれるようにゆかに座り込んだ。わたしは、そのとなりに座って、どうにかならないかなあって思いながら、アディソンの背中をさすった。

『アディソン、お父さんにお願ひしたら？ お母さんがアディソンをノバスコシアに連れていっちゃったら、お父さんとアディソン、そんなに簡単に会えなくなるでしょ。だから、お父さんも一緒にノバスコシア行きに反対してくれるんじゃない？』

『でも、お父さん、わたしのことなんて、もうどうでもいいんだと思う』

『そんなわけないよ。あ、そうだ、もっと簡単な方法がある。お父さんと一緒に住めばいいんだよ』

『アオイは、わかってないんだってば。お父さん、新しい女のひとと一緒に住んでるの。その人、おなかの中に赤ちゃんもいるんだよ。そんなところに行けるわけないじゃん』

そんなこと、全然知らなかった。だって、アディソン、なんにも言わないんだもん。アディソンは、いつも、Aしてて、優しくって、同い年なのにしっかりしてて、お姉さんみたいに頼りがいがあるから、なやみとか不安とか、そういうものは、全部乗り越えちゃってるのかと思ってた。

『大人って勝手だよ』

アディソンが、ため息をついて言った。その言葉を聞いて、わたしは、カナダに来る時のことを思い出した。

わたしがカナダに行きたくないって泣いても聞いてくれなかったのに、お母さんが、幸太に日本の小学校を経験させてから行きたいって言ったら、カナダに来るのを半年遅らせることができたんだ。ほんとに大人って勝手だ。

『大人は子どもの言うことなんて聞いてくれないんだから。子どもって、損だよ。早く大人になって、全部、自分の思うとおりに決めたいよ』

(中略)

うちには、よぶんなふとんがないから、わたしのベッドでアディソンと二人で寝た。ちょっとせまいけど、暖かい。家族以外のひととこうやってくっついて寝るなんて、初めてだから緊張する。

『アオイ、寝た？』

『ううん。ねむれない』

『わたしも。お母さんのこと、考えちゃう』

『どんなこと？』

『今晚は一人でごはん食べたんだろうなあとか、一人でさびしいかなあとか』

『そうかあ』

『わたし、自分のことばかり考えてたかなあ』

そう言われて、B した。

『アディソン、ごめんね』

『なにが？』

『わたしも自分のことばかり考えてたから』

『そうなの？』

『うん。わたし、アディソンがノバスコシアに行くかもしれないって言った時、行ってほしくなかった。アディソンがノバスコシアに行っちゃったら、わたしの空想を一緒に楽しんでくれる人がいなくなって、また、一人になっちゃうと思ったんだ』

『そうかあ。こわかったんだね』

『うん。ごめん。でも、きっと、みんな、こわいと思った時は、自分のことばかり考えちゃうもんなだと思っ』

『わたしも、こわいよ。ノバスコシアには何回も行ったことあるけど、あそこは、わたしのホームタウンじゃないから。わたしは、ここで生まれ育ったんだよ。学校も友達も、わたしの愛するものは全部ここにあるんだよ。それをお母さんの都合で引っ越すなんて、お母さんも、自分のことばかり考えてる』

③ アディソン、お母さんのこと心配したり、怒ったり、大変だ。きっと、いろんな気持ちがあぐちゃぐちゃに混ざって、なんだかよくわからなくなってるんだろなあ。あんまり考えると、もっとぐちゃぐちゃになりそう。そんなに考えなくていいと思うんだけど。

『あのね、わたしのお母さんが、よく言う言葉があるの。なんかいいかげんだから、わたし、あんまり好きじゃないんだけど』  
『なに？』

『なんとかなるって、英語でなんて言うのかな』

わたしは、タブレットを探した。

『ごめん、ちょっと電気つけていい？』

『うん』

わたしは、タブレットを手に取って、「なんとかなる」を検索した。

It will be OK.

Things will work out.

Everything will be OK in the end.

タブレットに出てきた言葉を見せたら、アディソンが、はっとした顔をして言った。

『前にラジオで聞いたんだけど、おばあちゃんが孫に、全部の話はハッピーエンドなんだよって教える話があったの』<sup>④</sup>  
『でも、ハッピーエンドじゃない話もあるよ』

『そう、それで、その孫も同じこと言うのね。そうしたら、おばあちゃんは、ハッピーエンドじゃない話は、本当はまだ終わってないんだよって言うの。本当は、もっともって話が続いてて、最後にはハッピーエンドになるんだって』  
「ふうん」

なんで、アディソンが、急にその話を始めたのかよくわからない。

『これ、アオイのお母さんがよく言う言葉、Everything will be OK in the end.って、たぶん、どういうことを選んでも最後はハッピーエンドだよってことなんだと思う。わたし、この町も、学校も、アオイのことも大好きだから、ノバスコシアに引っ越すことになったら、バッドエンドになるんだと思ってた。でも、そうじゃなくて、このままここについても幸せだけど、ノバスコシアに行っても幸せになれるんだと思う。どっちのほうが幸せかっていうのはわからないけど、きっと、どっちでも幸せになれるんだよ』

そう言われてみれば、そうかもしれない。わたしも、カナダなんて行きたくないって思ってたけど、カナダに来たら、アディソンに会えたり、日本にいた時よりも家族で過ごす時間が増えて、今、けっこう、カナダでの生活を楽しんでいるような気がする。

『明日、家に帰ったら、お母さんにもう一回、わたしの気持ちを話してみる。それでもお母さんがノバスコシアに行くって言ったなら、わたし、ノバスコシアに行く。行きたくないけど、でも、このままお母さんとけんかしてるのもいやだもん』

えっ、ちょっと待ってよ。アディソン<sup>⑤</sup>、切りかえが早すぎる。わたし、ついていけない。わたしは、まだ、アディソンがノバスコシアに行っちゃっても幸せって思えないもん。やっぱり、アディソンにノバスコシアに行ってほしくない。

なみだがあふれてきたから、顔をかくして電気を消した。それから、『おやすみ』って、アディソンに背中を向けて寝た。

次の日、わたしたちは、お昼近くに起きて、シリアルを食べた。

アディソンが帰る時、お母さんは、『寒いでしょ』と言って、アディソンに自分のコートを貸してあげた。

アディソンは、『ありがとうございます』と言ってから、『Everything will be OK in the end.』と親指を立てた。

お母さんが、I をかshげていたから、「なんとかなるって言ったの」と教えてあげた。

「ね？ いい言葉でしょ、なんとかなるって」

お母さんは、自信满满で言った。

そうかもしれないって、その時、初めて思った。

問一 A、B に適する語を次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア がっくりと      イ ドキッと      ウ ゆっくりと      エ イライラと      オ 堂々と

問二 I に適する漢字一字を答えなさい。

問三 部①「頭をガツンとなくられたような感じがした」の意味として最も適するものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア どうして良いかわからなくなる      イ 悲しみがあふれる      ウ ショックを受ける      エ ひどく傷つけられる

問四 部②「アディソンは話をやめない。それどころか、どんどん大きな声になっていった」からわかるアディソンの様子の説明として最も適するものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 今でなければ自分の気持ちをアオイに伝えられないと思い、必死に話している様子。

イ 自分の気持ちを伝えるのに精いっぱい、周りのことが目に入らない様子。

ウ わざわざ英語で話しかけてくるアオイのお母さんのことをいやがり、無視しようとする様子。

エ アオイが自分の話を聞いてくれていないと思い、大声で注意を引こうとする様子。

問五 部③「アディソン、お母さんのこと心配したり、怒ったり、大変だ」について、アディソンはお母さんに対してどのようなことを心配し、どのようなことを怒っているのですか。それぞれ説明しなさい。

問六 部④「全部の話はハッピーエンドなんだよ」について、このことが表していることとして最も適するものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 生きている途中でつらいことや悲しいことがあったとしても、最後には必ず幸せになれるということ。

イ 今の自分の状態を幸せなのか不幸せなのかを決めるのは、自分の心しだいであるということ。

ウ 物語というものはハッピーエンドであってほしいとみんなが望んでいるのだということ。

エ その時にどのような選択をしたかによって、人の幸せと不幸せが決まってくるのだということ。

問七 部⑤「アディソン、切りかえが早すぎる」について、アディソンはどのような気持ちからどのような気持ちに切りかわったのですか。「幸せ」ということを必ず使って説明しなさい。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

許諾が得られなかったため、本文を省略

許諾が得られなかったため、本文を省略

\* ログマーク……そのメーカーを表すしるしのこと。

\* 満喫……じゅうぶん味わうこと。

泉美智子 『12歳の少女が見つけたお金のしくみ』より



問一 A D に適する語をそれぞれ次の中から選び、記号で答えなさい。

ア なぜなら イ 要するに ウ 例えば エ むしろ オ ちなみに カ とはいえ

問二 I に最も適するものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 良いものだから買う イ オシャレだから買う ウ 着やすいから買う エ 高いから買う

問三 部a「差異化」b「耐久性」の意味として最も適するものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

a「差異化」		b「耐久性」	
ア	すぐれたものにする	ア	長持ちすること。
イ	ちがいを生み出すこと。	イ	めったにないこと。
ウ	まねをされること。	ウ	ほめられること。
エ	流行を取り入れること。	エ	待ち望まれていること。

問四 部①「心理的な効用」とはどのようなことですか。具体的に説明しなさい。

問五 部②「希少性」が失われないように、供給量をうまく調整していること」の説明として最も適するものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 原石の取引がなくなった時に備えて、ダイヤモンドを大量に確保しておくこと。  
イ めずらしいダイヤモンドが手に入ったら、高値ですぐに売れるよう備えておくこと。  
ウ たくさんあってもすべて提供することをせず、ダイヤモンドの価値を守ろうとすること。  
エ 富裕層でなくても買えるよう、安い値段のダイヤモンドも準備をしておくこと。

問六 部③「ブランド物の本当の良さ」とありますが、筆者は「ブランド物の本当の良さ」とはどのようなものだと考えているのですか。説明しなさい。

問七 本文の内容と合っているものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア Tシャツは、1950年代から日本のカジュアル・ファッションとして定着した。  
イ 高級ブランドのTシャツが高価である理由の一つとして、素材の良いことが挙げられている。  
ウ ブランドメーカーのTシャツは、他と比べて着やすさなどの性能の点ですぐれている。  
エ ダイヤモンドは、原石の時点から高額で取引されているので、商品になった際も高価である。

三 次のことわざについて、に適するものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- 1 まな板の
- 2 の手もかりたい
- 3 の一声
- 4 とんびがを生む
- 5 の耳に念仏
- 6 につままれる

ア うま      イ つる      ウ たか      エ きつね      オ こい      カ ねこ

四 次の——部のカタカナを漢字に直しなさい。

- 1 時代の流れにギャッコウする。
- 2 製品のケンサをする。
- 3 様子をホウコクする。
- 4 アンテナをセツチする。
- 5 アンイな方法をとる。



